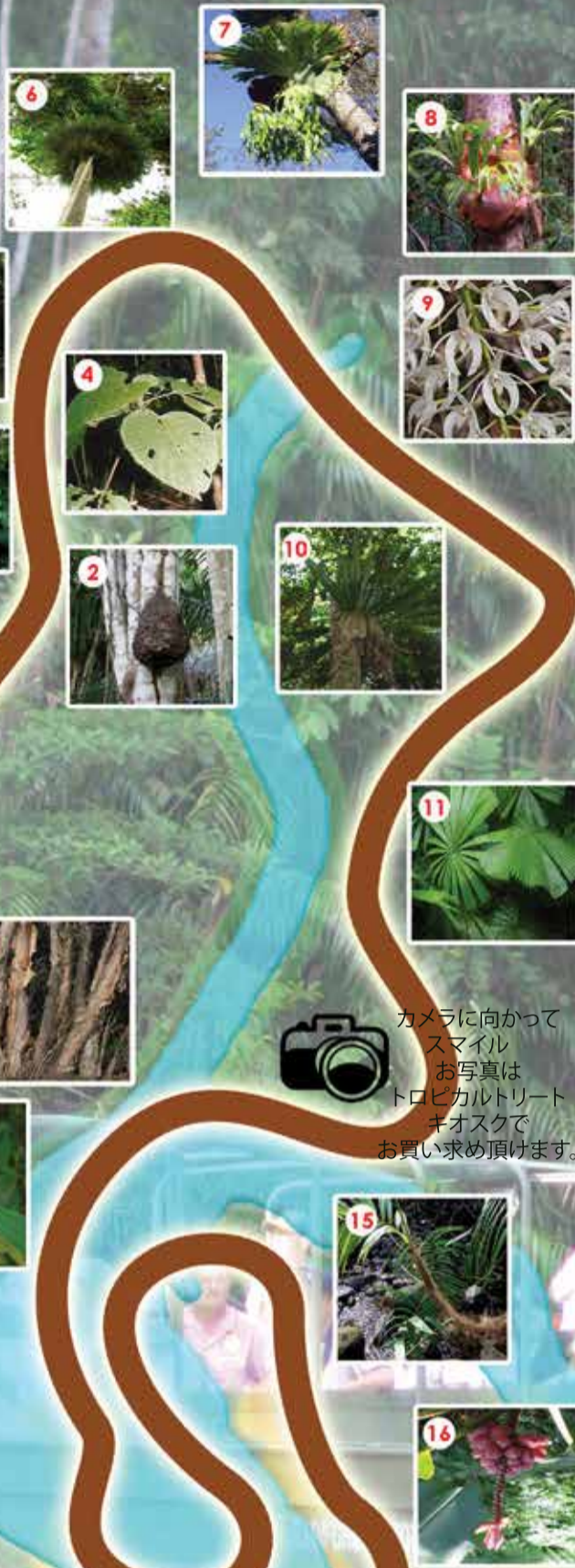


1. コークウッドツリー～蝶々が羽を休める木で、コリスバタフライがこの木の葉の上に卵を産みます。心臓病や船酔いの薬としても使われます。
2. ブラックワトル/シロアリの巣～先住民アボリジニはこの硬い木を使って槍やこん棒を、種ではパンのようなものを作りました。さらにシロアリが木の芯を食べ空洞になると、彼らはこの木を使い楽器であるデジュリドゥを作ります。
3. 木生シダ～1億5000万年前から変わらない姿をしている植物で、渦巻状になっている新芽は食用になるものもあり、抗酸化物質と鉄分を含みます。
4. スティンギングツリー～激しい痛みを引き起こす神経毒性のとげで覆われており、痛みは6ヶ月間続きます。このとげに対し免疫を持っている動物は、実を食べることが出来ます。
5. パンダナス(タコノキ)～およそ750種あり先住民アボリジニはとがった葉で籠を作り、実を食します。
6. バスケットファーン～暖かく適度な湿度がある内部は、動物や昆虫の隠れ家になります。
7. スタグホーンファーン～とても成長が遅い着生植物ですが、成長すると宿主の木を倒壊させるほど大きくなります。
8. エルクホーンファーン～スタグホーンファーンに近い種の耐寒性の植物で、個々の独立した植物の集合体となっています。
9. キングオーチャード～この植物の茎は成長すると3mにも達し、先住民アボリジニは下痢の薬としても使いました。
10. バードネストファーン～葉の大きさは1.5mにまで成長し、先住民アボリジニはこの大きな葉を出産のときに使いました。
11. ノースキーンズランドファンファーン～この植物の成長速度は遅く、ここでもっとも大きいものは20mにもなり樹齢はおよそ200年です。
12. カサモクレン～この木の花はおおく蜜を含んでおり、さまざまな種類の鳥や動物が蜜を吸いに来ます。
13. カユプテ～先住民アボリジニはこの木の葉をお茶のようにして飲み、風邪や咳の薬にしました。さらに樹皮を使い籠や水入れ、または屋根の材料としても使いました。
14. ブラックタン～広範囲に見られる土着の木で、この木の実を食べると舌が黒くなることから“ブラックタン(黒い舌)”と名づけられています。
15. ウェイトアウィルパーム(ちょっと待って木)～この植物はトウ属であり、長くとげのあるつるは成長すると300mにもなります。先住民アボリジニはこのつるで魚の罟や、クロコダイルを捕まえる縄を作ります。
16. レッドタツカバナナ～ビタミンCをおおく含んだ甘い果物です。
17. コーヒー～100年以上前のコーヒー園のなごりがこの木になります。
18. ジャックフルーツ～木に実る果物としては世界でもっとも大きな種類で、最大90cmになり、重さは45kgにもなります。



**安全上のご注意**  
お座席にお座りになって、  
手や頭を車外に出さない  
ようお願いします。  
お煙草はご遠慮下さい。

## 熱帯雨林の生き物

世界遺産に囲まれた40ヘクタール(東京ドーム8.5個分)に及ぶ熱帯雨林の年間平均降水量は、2500mmに達します。クィーンズランド北部の温潤熱帯地は世界遺産に登録されており、オーストラリアの保護された自然地区“王冠の宝石”と言われ注目されています。熱帯雨林に生息している生物の多様性は、甲虫と蛾の種だけを取っても、グレートバリアリーフのすべての生物より多いとされています。熱帯雨林には200種以上の鳥たち、オーストラリア全土の60%以上の蝶がおり、さらに7.5m以上にも成長するアメジストニシキヘビ、最大15cmのカエル、グリーンツリーフロッグ、そして翼を広げると25cmにもなる蛾、ヘラクレスモスなどの生息地でもあります。では、注意して探してみましよう。



**ケアンズ  
バードウィング  
バタフライ**  
オーストラリア最大の蝶で翼を広げると20cmにもなります。



**ノコヘリカブトガメ**  
このあたりで良く知られている亀でおたまじゃくしや昆虫、小魚を食べます。



**ユリスバタフライ**  
美しく光沢のある青色の羽を持ちクィーンズランド州のツーリズムの象徴として描かれることもあります。両翼を広げると14cmまで成長します。



**キャットバード**  
ニワシドリ科の一種になります。猫のような鳴き声を発することから、この名前がつけられました。



**カワセミ亜科**  
ヒメミツユビカワセミ、ルリミツユビカワセミ、モリショウビンなどはクィーンズランド北部でよく見られる種類です。あり塚の中に巣を作ります。



**ワライカワセミ**  
カワセミ科の中で最大種となります。鳴き方が人の笑い声に似ていることで知られています。



**ボイドレイ  
フォレストドラゴン**  
木の上に住むトカゲでオーストラリア北部の熱帯雨林にだけ生息しています。



**レースモニター**  
黄色と灰色の模様があり、2mまで成長します。



**イースター  
ウォータードラゴン**  
半水生のトカゲで90cmまで成長します。



**サルファークレスト  
コカトウ**  
オーストラリアの象徴の鳥として親しまれており、特徴的な呼び名でよく知られています。野生で40歳ぐらいまで生きます。



**ブッシュターキー**  
数羽で共生用の大きな巣をつくり、若いひな鳥は自分たち自身で身を守らなくてはけません。



**スクラブパイソン**  
オーストラリア最大の蛇で、最大8mにまで成長します。



**マスキーラット  
カンガルー**  
カンガルー科の中では最小のカンガルーです。約30cmぐらいまでしか成長はしません。



**オオウロコ  
フウチョウ**  
“楽園の鳥”と言われるこの鳥自慢の美しい青色は求愛のために使われます。



**サザンカソワリ**  
絶滅危惧種に指定されています。3番目に大きな飛べない鳥です。野生では2000頭しか残っていません。

## 熱帯雨林について

熱帯雨林には約1億5千万年以上、その姿を変えずに生息しているシダ植物などが多く残り、非常に古く複雑な生態システムを持っています。日光をさえぎるほど幾重にも重なった木々の枝葉が作る、キャノピー(林冠)と呼ばれる緑の天井があるのが特徴で、さらにその下には他の植物が層を成して生息しています。1ヘクタール(約280m四方)の範囲の植物量は地上に約400トンの植物、地中1mには約200トンの植物の根などが密生しています。この高密度の植生から出る落ち葉の量は年間14トンにもなり、菌やバクテリア、または昆虫などがそれらを分解しています。これらの植物が1年間に蒸散する水分は、約1.25mにもなります。そのため年間2m以上の降水量が熱帯雨林を保つためには必要となります。

## アーミーダックについて

- DUKWが表すもの D=1942年設計 U=水陸両用車 K=全輪駆動(6WD) W=2軸の後輪
- \* 第二次世界大戦の型です。
  - \* すべてのオフロードに対応した水陸両用車です。
  - \* ハイウェイでは四輪駆動になります。
  - \* 前進が10段ギア、バックは2段ギアがついています。
  - \* 第二次世界大戦ではディーゼルエンジンはとても不足していたため直列六気筒のガソリンエンジンです。
  - \* 地上では最大時速85kmまで水上では8ノットまで出ます。
  - \* 第二次世界大戦中は女性によって組み立てられました。
  - \* 元々の耐用年数はわずか3年間という設計でした。